

## 東区地域課

## 令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>東区歴史文化プロジェクト</p> <p>(事業開始年度) H24～東区まんなか文化プロジェクトとして継続、R3年度より事業名変更し、新しい生活様式に対応したイベント再開への支援と合わせて実施</p> <p>【R3予算額 5,000千円】</p>	<p>地域課</p> <p>【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 東区市民劇団による演劇公演コンサート、作品展示を通して、東区のみんなかである区役所庁舎から文化を発信し、にぎわいの創出を図る。 また、区内中学校文化部の活動体験を通して、世代間の交流を図り、地域の活性化を促進するほか、東区の歴史の普及啓発活動に取り組む。</p> <p>【事業内容】 1 東区市民劇団演劇公演事業 東区唯一の市民劇団である「座・未来」による演劇公演を東区プラザで行う。</p> <p>2 東区文化活動サポート事業 区内のほか新潟市を中心に活動している個人・団体によるコンサートや作品展示などの文化活動を支援する。 また、区役所南口のエントランスホールや東区プラザを活用した「にぎわい」の創出に取り組む。</p> <p>3 中学生とのふれあい体験事業 発表する機会が少ない、東区内中学校文化部の活動成果を披露する場を設ける。</p> <p>4 歴史普及啓発事業 公式Instagramや民間のノウハウを活用し、東区の歴史を区民に知ってもらうための普及啓発事業を行う。 ※令和2年度まで実施していた「東区歴史浪漫プロジェクト」の普及啓発事業を引き継いだもの。</p>	<p>1 東区市民劇団演劇公演事業 公演「みなとトンネルを抜けると・・・」 開催日：12月5日(土)～6日(日) (3回公演) 会場：東区プラザホール</p> <p>2 東区文化活動サポート事業 (1) 東区ギャラリー 一年間を通して一か月単位で絵画サークルや個人の作品を展示 (2) バレンタインコンサート 開催日：2月14日(日) 会場：東区プラザホール</p> <p>3 中学生とのふれあい体験事業 寺山公園で開催される「こいらいフェスタ」等に合わせて実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ※自治協議会提案事業として、東区プラザで東区内中学校文化部発表会を実施</p> <p>4 歴史普及啓発事業 (1) 歴史浪漫まち歩き (10/9、11/4、11/7) 定員各日 15人 参加者合計 39人 (2) 東区歴史浪漫講座の開催 (9/5、10/3、11/8) 参加者合計 163人 (3) DVDの配布 牡丹山諏訪神社古墳を題材とした演劇公演のDVDを50枚作成し、区内小中学校等に配布 (4) 歴史啓発リーフレット「東区歴史浪漫物語」の配布 小学校4校・中学校2校 (5) パネル資料展の開催</p>	<p>1 東区市民劇団演劇公演事業 公演「渚足柵(ぬたりのき)物語～姫と剣とわらべ唄～ 東区プラザ10周年記念ver」 開催日：12月4日(土)～5日(日) (3回公演) 会場：東区プラザホール</p> <p>2 東区文化活動サポート事業 (1) 東区ギャラリー 一年間を通して一か月単位で絵画サークルや個人の作品を展示 (2) バレンタインコンサート 開催日：2月13日(日)予定 会場：東区プラザホール</p> <p>3 中学生とのふれあい体験事業 (1) 音楽部発表会 開催日：8月6日(金) 会場：東区プラザホール 参加校：2校 (2) 美術部作品・体育祭応援パネル展示 ①美術部作品 展示期間：8月11日(水)～23日(月) 参加校：2校 ②体育祭応援パネル 展示期間：9月15日(水)～10月28日(木) 会場：区役所南口エントランスホール 参加校：6校</p> <p>4 歴史普及啓発事業 (1) 東区歴史文化まち歩きの開催 開催日：11月4日(木)、11月13日(土)、11月14日(日) (2) シンポジウムの開催 開催日：R4.2(予定)</p>	<p>&lt;実績&gt; ・区のみんなかである区役所や令和3年度に開館10周年となる東区プラザを活用した「にぎわいづくり」や「文化鑑賞事業」の実施</p> <p>・歴史普及啓発活動では、新潟シティガイドやじゅんさい池みらいプロジェクトアドバイザーによる説明</p>	<p>【評価】 演劇公演のオーディションや作品展示などで区民が文化活動に参加し、鑑賞する機会を提供できるほか、東区の歴史の普及啓発につながっている。</p> <p>区民の文化鑑賞と活動団体の発表の機会を提供することで、東区のみんなかである区役所庁舎から文化を発信するとともに、にぎわいの創出と地域の活性化を引き続き図っていく。</p> <p>歴史普及啓発事業については、公民館事業と協力・連携しながら事業を実施する。</p> <p>【来年度方針】 継続(一部見直し) 来年度はプラザホールの天井改修工事のため、ホールでの事業は実施できない見込み。市民劇団は継続し、他会場での公演を予定。バレンタインコンサートは令和3年度の10年目公演で終了とする。 また、東区ギャラリーは毎月の展示ではなく、「(仮称)東区まんなか文化祭」として、秋に1か月間程度、多くの団体の作品を集めた展示会として南口エントランスで行うこととし、区役所庁舎のにぎわいを創出するとともに文化を発信していく。 また、歴史普及啓発事業は、公民館事業と協力・連携しながら実施する。</p> <p>・東区市民劇団演劇公演事業 ・東区文化活動サポート事業 ( (仮称) 東区まんなか文化祭、中学生文化部発表、クリスマスツリー設置) ・歴史普及啓発事業</p> <p>必要予算額：2,900千円</p>

※新しい取り組みや、従来と変更になる箇所はゴシック体で表記しています。

令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
じゅんさい池みらい プロジェクト  (事業開始年度) 令和2年度  【R3予算額】 3,500千円 └地域課 1,500千円 └区民生活課 2,000千円	地域課 区民生活課  【第1部会】	<b>【事業内容】</b> 1 方向性の検討 2 魅力のPR 3 環境保全活動  <b>【事業目的】</b> 1 方向性の検討 2 魅力のPR 住宅地に囲まれた中で貴重な緑地環境を有し、砂丘湖という希少な成り立ちをもつじゅんさい池について、「未来につながる」をテーマに、その価値や魅力を広く周知するとともに、自然環境を活かした憩いの空間づくりに努める。また、地域住民や専門家の意見を踏まえ、環境保全や活用方法及び地域との役割分担を検討する。 3 環境保全活動 じゅんさい池の自然環境を守り、憩いの空間づくりを進めるため、地元コミ協が実施してきた葦・園芸スイレンの刈取り作業を引き続き行い、地域住民と協働で自然環境保全活動を行う。	1 方向性の検討 ・「じゅんさい池みらい会議」の設立及び会議の開催。 ・会議委員6名 ・アドバイザー4人 ・会議開催 第1回：令和2年7月29日 内容：プロジェクト概要、検討の進め方等 第2回：令和2年11月18日 内容：アドバイザーによる現地学習会 第3回：令和3年3月21日 内容：「じゅんさい池みらいプラン」の策定方針、課題の整理  2 魅力のPR ・「じゅんさい池ガイドブック」の作成(5,000部) ・PRグッズの作成 クリアファイル(2,000枚) 付せん紙(2,000個)  3 環境保全活動 ・池の園芸スイレン及び水際のヨシ等の刈取り 日時：令和2年9月13日 参加者：45人(地域・区職員・業者) ・外来種カメの駆除 日時：令和2年9月23～24日 駆除：ミシシippアカミミカメ2匹 ・池の園芸スイレンの刈取り 日時：令和2年11月9日～12日	1 方向性の検討 ・「じゅんさい池みらい会議」の開催。 第4回：令和3年7月12日 内容：基本的な考え方・方向性、今年度の取り組み、各課題への取り組み方針について ・今後、令和3年度中に3回開催予定  2 魅力のPR ・区だより掲載(5/2号・6/20号・8/15号) ・パネル展の開催 新潟空港(9/13～23) イオン東店(9/29～10/8) 他(東区役所・山の下まちづくりセンター・石山出張所・ほんぼーとの予定) ・こども版ガイドブックの作成(8,000部作成予定)  3 環境保全活動 ・池の園芸スイレン及び水際のヨシ等の刈取り <東池> 日時：令和3年11月中を予定 <西池> 日時：令和3年10月3日  ・外来種カメの駆除 日時：令和3年11月末までの実施を予定	1 方向性の検討 アドバイザー及び検討会議委員としての参画  2 魅力のPR パネル展(オープンハウス)による意見聴取 ※オープンハウスとは、パネル展示等の形式で意見を聴取する手法の一つ。  3 環境保全活動 じゅんさい池の環境保全作業 R2年度 参加者 45人 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、広く公募せず)	<b>【評価】</b> 自治協議会提案事業から引き継ぎ、令和2年度より特色ある区づくり事業として実施。じゅんさい池の環境保全や活用方法等について地域住民等と検討することや、協働で環境保全事業を実施することは、地域の誇りづくりや活性化に有効であると考えられる。  <b>【来年度の方針】</b> 継続 令和3年度に策定予定の「じゅんさい池みらいプラン」に基づき地域や行政が各々の役割分担のもと活動を展開するとともに、活動母体の基盤づくりを支援するほか、じゅんさい池公園の魅力発信や池の保全活動への関心を高めるための機運醸成を図る。  ・じゅんさい池公園の魅力発信 ・環境保全活動の実施 ・フォーラムなどの開催  <b>【必要予算額】</b> 3,500千円 └地域課 1,500千円 └区民生活課 2,000千円

※新しい取り組みや、従来と変更になる箇所はゴシック体で表記しています。

東区区民生活課

令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針																												
美しい東区環境づくり 事業  (事業開始年度) 平成31年度  【R3予算額 1,100千 円】	区民生活課  【第3部会】	<p>【事業目的】 区ビジョンまちづくり計画に掲げた「ごみのない美しいまちづくり」を推進するため、まちの美化や環境保全意識の向上を図る取り組みにより「クリーン東区」のイメージ定着を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 東区クリーン大作戦 コミ協単位で区民総出による一斉清掃を実施する。</p> <p>2 ボランティア清掃の支援 自治会、町内会、その他の団体が通年実施する地域清掃活動について支援を行う。</p>	<p>1 東区クリーン大作戦 ・東区内のコミ協が6月20日～10月24日に実施。一斉清掃には延べ5,228人が参加。 ・ごみの回収量 燃やすごみ 9.3トン 燃やさないごみ 0.2トン 粗大ごみ 1点</p> <p>2 ボランティア清掃の支援 ・団体数 303団体 ・参加者数 19,586人</p>	<p>1 東区クリーン大作戦 今年度の東区クリーン大作戦は、新型コロナウイルス感染症拡大防止も踏まえて、12地域コミ協で計画中</p> <p>2 ボランティア清掃の支援 ボランティア清掃は7月末現在で241団体の計画を受付。</p>	<p>1 東区クリーン大作戦実績</p> <table border="0"> <tr><td>H19年度</td><td>参加者 1,040人</td></tr> <tr><td>H20年度</td><td>参加者 2,789人</td></tr> <tr><td>H21年度</td><td>参加者 4,455人</td></tr> <tr><td>H22年度</td><td>参加者 3,791人</td></tr> <tr><td>H23年度</td><td>参加者 4,459人</td></tr> <tr><td>H24年度</td><td>参加者 4,973人</td></tr> <tr><td>H25年度</td><td>参加者 5,953人</td></tr> <tr><td>H26年度</td><td>参加者 6,502人</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>参加者 6,735人</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>参加者 6,830人</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>参加者 6,418人</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>参加者 5,686人</td></tr> <tr><td>H31年度</td><td>参加者 6,754人</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>参加者 5,228人</td></tr> </table>	H19年度	参加者 1,040人	H20年度	参加者 2,789人	H21年度	参加者 4,455人	H22年度	参加者 3,791人	H23年度	参加者 4,459人	H24年度	参加者 4,973人	H25年度	参加者 5,953人	H26年度	参加者 6,502人	H27年度	参加者 6,735人	H28年度	参加者 6,830人	H29年度	参加者 6,418人	H30年度	参加者 5,686人	H31年度	参加者 6,754人	R2年度	参加者 5,228人	<p>【評価】 東区クリーン大作戦は各コミ協が中心となって、地域の一斉清掃を行う取り組みが定着し、まちの美化とともに環境保全意識の向上が図られている。また、ボランティア清掃の取組促進と併せて、「クリーン東区」のイメージ定着が図られた。 R2年度は新型コロナウイルスの影響により、中止や人数を縮小し実施したコミ協もあったため、全体の参加者が減少した。 クリーン作戦実施の際に、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら実施した。</p> <p>【来年度の方針】 継続</p> <p>【必要予算額】 1,100千円</p>
H19年度	参加者 1,040人																																	
H20年度	参加者 2,789人																																	
H21年度	参加者 4,455人																																	
H22年度	参加者 3,791人																																	
H23年度	参加者 4,459人																																	
H24年度	参加者 4,973人																																	
H25年度	参加者 5,953人																																	
H26年度	参加者 6,502人																																	
H27年度	参加者 6,735人																																	
H28年度	参加者 6,830人																																	
H29年度	参加者 6,418人																																	
H30年度	参加者 5,686人																																	
H31年度	参加者 6,754人																																	
R2年度	参加者 5,228人																																	

※新しい取り組みや、従来と変更になる箇所はゴシック体で表記しています。



令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>ウェブでつながるマタニティ期からの子育て応援事業</p> <p>(事業開始年度) 令和3年度</p> <p>【R3予算額 4,200千円】</p>	<p>健康福祉課</p> <p>【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 妊娠期から父母双方に育児知識を得てもらい、知らないことによる虐待リスクの減少と出産後の不安感・孤立感を解消する。また、父親向けの講座を開催し、男性の子育て参加を促進する。 講座や相談会は集合形式に加え、新しい生活様式に対応したウェブによるリモート開催も実施する。</p> <p>【事業内容】 1 妊娠期からの子育て支援講座 2 父親の育児参加の促進 3 子育て応援冊子の発行 4 子どもへの虐待防止の強化</p>	<p>1 妊娠期からの子育て支援講座 ・プレママ・パパを対象に、助産師会との連携による講座を8回開催(母:53名、父:48名) ・BP(親子の絆づくりプログラム)を9クール、NP(子供を育てる親を支援)を2クール開催し、親子間の愛着形成や子育てに必要な知識や方法を学ぶことで虐待防止を啓発</p> <p>2 父親の育児参加の促進 ・父親向けの講座を休日に11回開催(父:54名参加)</p> <p>3 子育て応援冊子 ・「ままっぷ」6,000部発行</p> <p>4 子どもへの虐待防止の強化 ・幼保小中学校の教員等を対象とした研修会「地域で支える教育・福祉」を開催 ・子育て中の父母を対象としたおとなCAPワークショップ「パパ・ママ交流カフェ」を実施</p>	<p>1 妊娠期からの子育て支援講座 ・プレママ・パパセミナーを年10回開催予定 ・BP:8クール予定、NP:3クール予定 これらの講座参加者を対象にウェブを使ったリモートでの「親子ふれあいタイム」などを開催(～7月:3回14名参加)</p> <p>2 父親の育児参加の促進 ・父親向け講座11回予定</p> <p>3 子育て応援冊子 ・年度内の発行に向けて編集委員会を立ち上げ</p> <p>4 子どもへの虐待防止の強化 ・幼保小中学校の教員等を対象に、障がい児の支援者の連携とスキルアップを目的とした研修会を開催する予定 ・CAPワークショップを「わいわいひろば」「い～てらす」「こども創作活動館」の各館で開催予定 ・区内の全中学8校にて思春期における性教育の研修を実施</p>	<p>3 子育て応援冊子編集委員として子育て中の区民が参加</p>	<p>【評価】 妊娠期の支援事業であるプレママ・パパセミナーやBP・NPなどの講座を開催した。出産に向けて不安を持つ妊娠期の女性、そのパートナーから育児知識を得てもらうことで、知らないことによる虐待リスクの減少に貢献していると考えている。 なお、開催にあたっては休日の講座開催を強化することで、夫婦での参加が行いやすくなり、育児に参加したくとも知識を得る機会に恵まれていなかった男性からは特に好評を得ている。 3密への配慮を強化しつつも、提供する情報については質、量ともに妥協することなく充実させる必要があると認識している。 また、ウェブを活用した複数人参加のリモート講座「親子ふれあいタイム」を実施、Instagram等でも子育て情報の発信を進めている。</p> <p>【来年度方針】 継続 新しい生活様式に対応するため、講座の開催に当たっては集合形式だけではなく、ネットを利用したリモート開催なども進めている。特に、人との関わり合いを避けがちで、子育て支援サービスの利用に消極的な方にも情報が届くようなウェブ活用を目指す。 新たに妊産婦の不安が大きくなる妊娠期から乳児期をターゲットとした育児に関する助言動画(沐浴・離乳食など)をInstagram等で配信し、各健診チラシにリンク先QRコードを掲載する。手軽な情報入手先としての役割の他、顔が見える相談先「わいわいひろば」などへの誘導窓口として機能させ、施設利用や講座参加の促進に結びつける。そのことで必要な子育て支援サービスが受けられ、安心して子育て出来る環境づくりを支援する。 また、CAPワークショップを東区にある子育て支援施設3館で実施し、出産前の親から小学生の親子まで、幅広い層に虐待についての理解を深めて行く。 各種健診などあらゆる機会を捉え、虐待の未然防止に継続して取り組む。</p> <p>必要予算額:4,200千円</p>

※新しい取り組みや、従来と変更になる箇所はゴシック体で表記しています。

令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>歯っぴーすまいるプロジェクト (事業開始年度) 令和2年度 【R3予算額 1,900千円】</p>	<p>健康福祉課 【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 東区の歯科保健の課題である子どものむし歯の改善に向け、こども食堂・保育園・幼稚園等と連携し、歯と食育の健康づくりを行う。</p> <p>【事業内容】 1 子ども食堂と連携し、来所する親子を対象に、むし歯予防・食育の啓発や歯科衛生士、栄養士による健康相談を行う。</p> <p>2 保育園、認定こども園、幼稚園年長児を対象とした巡回むし歯予防教室(県歯科衛生士会へ委託)、むし歯予防や歯みがきについてのDVDを配布し、年間を通じて歯みがきの習慣化に取り組む。</p> <p>3 放課後児童クラブにおけるむし歯予防教室(新規)</p> <p>4 歯っぴーすまいるチャレンジの実施:子ども食堂、放課後児童クラブへ来所する子どもへカードを配布し、1か月間の歯みがき実施状況により景品を呈し、楽しみながら適切な歯科保健行動が家庭でとれるよう支援する。</p> <p>5 歯と口の健康づくり啓発事業(イベントブース)</p> <p>6 区歯科医師会、養護教諭との情報交換・連携会議</p>	<p>【子ども食堂における歯と食育の健康相談】 区内全5か所の子ども食堂で各2回、計10回実施 参加者:228組 ※また、併設する放課後児童クラブ1か所でむし歯予防教室(コロナのためDVD視聴)を試行実施。参加者:150人</p> <p>【保育園、認定こども園、幼稚園巡回むし歯予防教室】 15園299人に実施</p> <p>【チャレンジカードの配布】 ・対象:子ども食堂(+放課後児童クラブ)へ来所した親子 ・配布数:378、回収数:99(回収率:26.2%)</p> <p>【歯とお口の健康づくり啓発事業】 ・R2.11.7 寺山こどもまつりで、歯科衛生士・栄養士による歯と食育の相談コーナーを設け、啓発。 ・来場者:225人</p> <p>【歯科医師会、養護教諭との連携】 ・東区歯科医師会3班の班会で取り組みについて説明・共有。 ・養護教諭との会議をもつことが難しかったため、歯科保健に関するアンケートを実施。アンケート結果と区の取り組みについて書面で共有。</p>	<p>1 6～7月に子ども食堂全5か所で、計9回実施。197組の親子にむし歯予防・食育の啓発や個別相談・指導を実施。</p> <p>2 保育園等のむし歯予防教室は、9月以降、13園に実施予定。DVDは後期に作成、配布する。</p> <p>3 放課後児童クラブは、7～8月(夏休み期間中)に18/27施設で実施予定。</p> <p>4 子ども食堂:配布数197枚、回収数:60枚(8/5現在) ※児童クラブは現在配布中</p> <p>5 R3.5.5.寺山こいこいフェスタにおいて専用ブースを設け、啓発や歯科衛生士によるミニ相談を実施。来場者:222人</p> <p>6 養護教諭・歯科医師会との連携は、新型コロナウイルス感染状況をふまえ、方法を検討の上、実施予定。</p>	<p>子ども食堂運営団体や関係機関等と区の歯科保健に関する課題を共有し、連携して事業を実施している。</p>	<p>【評価】 1 感染対策をとり、模型を使用した歯みがき指導を実施。砂糖や塩分量の分かるフードモデルも展示し、むし歯予防と健康づくりに関する理解を深めてもらうことができた。</p> <p>2 昨年度実施した園からは、子ども達が正しい歯みがき方法を理解でき、保護者の意識も変わると思うとの感想をいただいている。園での継続指導にもつながっており、今後配布予定のDVDの活用状況も含めた評価を行っていく。</p> <p>3 放課後児童クラブでのむし歯予防教室(新規)は、クラブスタッフの協力もあり、児童の反応・理解共に良好。</p> <p>4 親子で適切な歯科保健行動がとれるよう、カードの提出期限を早め、配布の翌月とした。また、今年度より、小学生以上の子どもへカラーテスターを配布し、保護者へ仕上げ磨きの大切さを伝えており、次年度も同様に実施したい。</p> <p>5 むし歯予防のポピュレーションアプローチとして、引き続き機会を捉えた区民への啓発が必要。</p> <p>6 コロナ禍で、歯科医師や養護教諭と会議をもつことが難しい状況ではあるが、今後も区の取り組みについて共有し、より良いむし歯予防対策について検討する。</p> <p>【来年度方針】 継続(3年目) 1 子ども食堂でのむし歯予防の啓発・健康相談:全5か所へ各2回実施。 2 園への巡回むし歯予防教室:未実施の17園で実施。(R2～4年度で全45園へ実施) 3 放課後児童クラブでのむし歯予防教室:未実施の9施設で実施。(R3, 4年度で全27施設へ実施) 4、5、6:R3年度と同様に実施。 また、3年間の本事業の評価を行い、R5年度以降の事業の展開や評価指標について検討する。</p> <p>必要予算額:1,900千円</p>

※新しい取り組みや、従来と変更になる箇所はゴシック体で表記しています。

令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>みんなで見守ろう認知症！おれんじネット</p> <p>(事業開始年度) 令和2年度</p> <p>【R3予算額 800千円】</p>	<p>健康福祉課</p> <p>【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため、地域住民の認知症に対する理解を深め、認知症を地域で見守るネットワークづくりを推進する。</p> <p>【事業内容】 1 認知症講演会や講座、研修会等の開催 2 認知症SOS検索模擬訓練 3 ネットワークづくりの推進</p>	<p>1 認知症講演会や講座、研修会等 ・東区キャラバン・メイト連絡会の企画により、主にキャラバン・メイトを対象としたスキルアップ研修をリモートで実施した。 ・東区役所エントランスホールにおける認知症パネル展示、その期間中の認知症サポーター養成講座を開催した。</p> <p>2 認知症SOS検索模擬訓練 ・当初予定していた牡丹山地区における認知症SOS検索模擬訓練はコロナ禍により中止した。 ・「認知症SOS検索模擬訓練実施マニュアル」を作成した。</p> <p>3 ネットワークづくりの推進 ・認知症の理解を深める活動により、認知症支援の輪が広がった。</p>	<p>1 認知症講演会や講座、研修会等 ・地域包括支援センターや東区キャラバン・メイト連絡会の企画により、冬以降に実施する。 ・認知症SOS検索模擬訓練の事前に、認知症の基礎知識や認知症の方と接する際に必要な技術(気づきや声掛け)の習得を促進するため、認知症サポーター養成講座を開催する。</p> <p>2 認知症SOS検索模擬訓練 ・令和2年度に予定していた牡丹山地区における認知症SOS検索模擬訓練について、<b>新型コロナウイルス対策により、少人数(30名)ずつ3地域にわけ、小規模で3回実施する予定。</b> ・昨年度作成した「認知症SOS検索模擬訓練実施マニュアル」を活用する。</p> <p>3 ネットワークづくりの推進</p>	<p>今後、「支え合いのしくみづくり会議」などをおし、コミ協・自治会等からの要望があれば、協働により「認知症SOS検索模擬訓練」を実施していく。</p>	<p>【評価】 新しい生活様式を考慮しながら、認知症講演会や講座、研修会を開催し、認知症への理解を深めることで、認知症の支援の輪が広がり、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりにつながると考える。 また、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域が地域の手により地域の現状を理解し、関係機関と連携しながら、認知症を地域で見守るネットワークづくりに寄与していく。 牡丹山地区における認知症SOS検索模擬訓練については、おたがいさまのまちづくり実行委員会を中心に、地域、包括支援センター、東区キャラバン・メイト連絡会が連携して実施できているため、関係団体と連携し、他地域でも活動が展開できるよう働きかけていく。</p> <p>【来年度方針】 継続</p> <p>必要予算額:800千円</p>

※新しい取り組みや、従来と変更になる箇所はゴシック体で表記しています。



令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
地域と取り組む！高齢者見守り訪問・介護予防事業  (事業開始年度) 令和3年度  【R3予算額 2,500千円】	健康福祉課  【第2部会】	<b>【事業目的】</b> 一人暮らしや高齢者のみ世帯の高齢者のうち、介護認定を受けている世帯や生活保護受給者などを除く、第三者の目が届きづらい高齢者の現状を確認し、状況に応じて適切なサービスを導入する。 健康寿命延伸を目的に、コミュニティ協議会との協働による健康づくり及び介護予防に取り組む。  <b>【事業内容】</b> 1 見守り訪問 民生委員の協力による一次訪問、区役所による二次訪問を経て、対象高齢者の適切なサービス利用を支援  2 健康づくり・介護予防講座 コミ協との協働による健康づくり・介護予防講座  3 自主グループリーダー研修会 運動普及推進委員・食生活改善推進委員・ウォーキング等の自主グループリーダーを対象とした研修会	1 見守り訪問 ○対象者 区内の75歳以上高齢者 20,968人のうち 7,309人(34.9%) ○調査結果(7,309人のうち) ・介護保険サービスが必要 10人(0.14%) ・介護保険外サービスが必要 2人(0.02%) ・地域や地域包括支援センター等の見守りが必要 59人(0.81%) ・問題なし・除外(若手と同居していた等) 7,238人(99.03%)  2 健康づくり・介護予防講座 ・桃山コミ協 6回実施延べ100名参加 (2会場×3回) ・東中野山コミ協 4回実施延べ69名参加  3 自主グループリーダー研修会 ・運動普及推進委員、ウォーキング自主グループ代表者合同研修会 1回26人 ・幸齢ますます元気教室自主グループリーダー研修会 1回12人 ・幸齢ますます元気教室自主グループフォロー研修会 3回延24人	1 見守り訪問 ・調査に向けて75歳以上の独居を含む高齢者のみ世帯のうち、介護保険や総合事業を受けている世帯、生活保護世帯を除く、対象世帯を抽出作業 民生委員による一次訪問 10～11月に実施予定 看護師等による二次訪問 12～2月に実施予定 ・地域包括ケアシステムの構築に向け、現況把握とともに必要と思われるサービスへつなげていく。  2 健康づくり・介護予防講座 ・下山コミ協 9～11月に3回実施予定 ・南中野山コミ協 10～1月に4回実施予定  3 自主グループリーダー研修会 ・運動普及推進委員、食生活改善推進委員、ウォーキング、脳トレ自主グループ合同研修会 10月に2回実施予定 ・幸齢ますます元気教室自主グループリーダー研修会 1回実施予定 ・幸齢ますます元気教室自主グループフォロー研修会 3回実施予定	1 見守り訪問 ・民生委員から全面的な協力を得ている。 ・「支え合いのしくみづくり会議」との関連でコミ協・自治会等からの積極的な参画を模索する。 (実践例) ・中野山コミ協では、「支え合いのしくみづくり会議」として、困りごとを抱えた地域住民に迅速に対応できるように、民生委員の見守り訪問時に、個人情報に関する同意書の提出を依頼している。  2 健康づくり・介護予防講座 関係機関やコミ協とは事前に協議しながら実施に向けて調整中。  3 自主グループリーダー研修会 合同研修会を通して、各団体・グループの活動に関する理解も深まっている。	<b>【評価】</b> 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進するなかで現況の把握は不可欠である。 民生委員本来の活動と関係づけることで、行政のみならず関係者の負担も最小限に抑えるよう工夫している。 専門性の高い部分は行政、そうでないところは地域と棲み分けながら、事業を協働で実施している。 地域包括ケアシステムの構築に向け、地域が地域の手により地域の現状を理解することが基礎になるため、継続する必要があると考える。 運動普及推進委員・食生活改善推進委員・自主グループについては、構成するメンバーに高齢者が多く、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら研修内容を検討している。  <b>【来年度方針】</b> 継続 高齢者見守り訪問について、今年度同様の内容で継続して実施する。また、事業の効果を検証するため、アンケート調査等の実施を予定している。 健康づくり・介護予防教室について、未実施のコミ協に打診し、地域の健康づくりを支援していく。 また、地域の健康づくりリーダーとして、運動普及推進委員、食生活改善推進委員や自主グループのメンバーは活発に活動しているため、これからも活動の幅を広げていけるよう研修会を実施し、知識、技術等を得て、健康寿命延伸のために活動できるよう継続して支援していく。  必要予算額:2,500千円

※新しい取り組みや、従来と変更になる箇所はゴシック体で表記しています。

令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
地域の防災力向上事業  (事業開始年度) 令和3年度  【R3予算額 3,200千円】	総務課  【第1部会】	<p><b>【事業目的】</b>                      自然災害への備えや、避難の際の感染症対策を学ぶことで、地域の防災力向上を図るため、防災出前講座を実施する。                      また、地域と小学生による地域安全マップづくりを支援することで、子どもと地域の防犯力向上を図るほか、防災・防犯・交通安全の各分野の周知啓発を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b>                      1 防災出前講座の開催                      地震編、水害編、避難所運営編を基本としつつ、可能な限り申込者の希望を取り入れた内容で行う。                      2 地域安全マップ作成支援                      作成団体に対し、用品等の貸し出しを行うほか、必要に応じて区職員がサポートを行う。また、完成した作品をコンテストに出品する。                      3 各種パネル展                      区役所南口エントランスホールにおいて、防災、防犯、交通安全のパネル展示を行い、広く区民に周知を行う。</p>	<p>1 防災出前講座の開催                      コロナ禍により、例年より申し込みが少なかったが、18回実施し、約1000人からの利用があった。                      (内訳)                      地域 7団体                      学校 7団体                      その他 4団体</p> <p>2 地域安全マップ作成支援                      コロナ禍により、実施は1団体であったが、コンテストに出品した1作品が受賞した。                      (内訳)                      1校 4作品</p> <p>3 各種パネル展                      (内訳)                      防災 5回                      防犯 2回                      交通 5回</p>	<p><b>【8月1日時点】</b>                      1 防災出前講座の開催                      (内訳)                      地域 5団体                      学校 0団体                      その他 0団体</p> <p>2 地域安全マップ作成支援                      (内訳)                      1校予定</p> <p>3 各種パネル展                      (内訳)                      防災 1回                      防犯 0回                      交通 2回</p> <p>※コロナ禍の影響により、キャンセル・未実施あり。</p>	<p>防災出前講座は、地域に浸透していることもあり、多くの区民に利用してもらっている。                      しかし、コロナ禍により、地域安全マップ作成団体とともに、減少傾向にある。</p>	<p><b>【評価】</b>                      1 事業内容の妥当性                      災害時にはひとり一人の適切な避難行動が重要となり減災に繋がる。防災講座の中で、地域の特性(弱み・強み)などを学び、自らの避難行動や日頃からの災害に対する備えを考える機会となっている。                      2 事業の効率性と費用対効果                      自主防災訓練などを活用し防災講座を開催することにより、多くの市民が受講している。                      多くの区民が利用するエントランスホールでのパネル展示を行うことで、効果的な啓発ができる。                      3 協働の視点                      地域の自主防災訓練などを活用し実施していることから、自治会の役員方と話し合い地域に合った講座の内容を決めている。                      地域からの要請により、地域安全マップづくりを区職員もサポートを行っている。                      4 今後の事業展望                      防災の専門家が講師となり講座を行うことにより、最新の情報を市民へ提供できると共に、防災出前講座は啓発事業の柱として実施をしていきたい。あわせて、地域安全マップ支援も継続することとし、さらなる防犯力向上に努める。</p> <p><b>【来年度方針】</b>                      継続                      日常的に防災等のことを考えることは少ないことから、年に一回は防災等を考える機会を作ることが大切である。よって、防災出前講座や地域安全マップ支援を継続的に実施するとともに、多くの市民から防災等を考えてもらうための啓発を行っていく。</p> <p>必要予算額：3,200千円</p>



令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>避難所運営ワークショップ事業</p> <p>(事業開始年度) 令和2年度</p> <p>【R3予算額 1,400千円】</p>	<p>総務課</p> <p>【第1部会】</p>	<p>【事業目的】 地域防災力向上のため、避難所運営マニュアルの整備が完了している避難所を対象に、実際の避難所運営を想定したシミュレーション体験してもらうことで、マニュアルの見直しや、今後の防災訓練に取り入れてもらうなど、災害時における円滑な避難所運営の確立を目指す。</p> <p>【事業内容】 ・シミュレーションの実施 ・シミュレーション体験を踏まえたフォローアップの実施</p>	<p>・開催準備を整え、9避難所から参加してもらう予定だったが、コロナ禍により次年度へ見送った。</p>	<p>・昨年度の参加予定避難所を対象に実施する予定。</p> <p>【開催日】 S:11/27(土)・28(日) F:12/8(水)</p> <p>【参加予定避難所】 東山の下小学校 藤見中学校 中地区コミセン 県立東高校 江南小学校 石山中学校 南中野山小学校 東中野山小学校 東石山中学校</p>	<p>避難所運営の中核となる「避難所運営委員会」メンバーの地域住民が参加する。 コロナ禍により開催が難しい場合は、規模を縮小して行う、参加型としない方法で実施、などの方策で実施したい。</p>	<p>【評価】</p> <p>1 事業内容の妥当性 従来より、地域・施設管理者・行政の3者が集まり、避難所運営体制の構築を図ってきたが、机上での検討が主であった。 避難所運営は、地域主体での運営が望まれることから、避難所運営シミュレーションを行うことで、より具体的なイメージができ、円滑な避難所運営につながる。</p> <p>2 事業の効率性と費用対効果 シミュレーションは、避難所運営委員会を対象に実施するが、実施後も、避難所ごとの自主防災訓練に取り入れられるよう工夫することで、より多くの区民がシミュレーションに参加できる。</p> <p>3 協働の視点 各地域の主にコミ協・自治会役員等で構成される避難所運営委員会を対象に実施する。</p> <p>4 今後の事業展望 3か年度をかけて、全ての避難所からワークショップに参加してもらう。</p> <p>【来年度方針】 継続 3か年度をかけて、全ての避難所に対し事業を実施するため継続。</p> <p>必要予算額：1,400千円</p>

東区地域課

令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
産業のまち東区魅力 発信プロジェクト  (事業開始年度) R 2年度  【R3予算額 2,000千円】	地域課  【第3部会】	<p>【事業目的】 東区の個性である「産業のまち」をはじめとした東区の魅力を区内外に広く発信し、区民としての誇りの再発見と交流人口の拡大を促進する。</p> <p>【事業内容】 1 工場夜景バスツアー 2 インスタグラムでの情報発信 3 産業・観光フォトコンテストの実施</p>	<p>1 工場夜景バスツアー (定員:20名or40名) ・7月31日(金)⇒中止 ・8月 8日(土)⇒中止 ・8月31日(金) 20名(3.55倍) ・9月 5日(土) 20名(6.0倍) ・11月20日(金) 40名(0.75倍) ・11月27日(金) 40名(1.0倍)</p> <p>○見学先 ・東北電力新潟火力発電所 ⇒中止 ・航空自衛隊新潟分屯基地 ⇒中止 ・東消防署 ⇒中止 ・新潟県消防防災航空隊 ・(株)博進堂 ・北陸重機工業(株)</p> <p>2 スペシャルサイトでの 情報発信 ・羽賀佛壇店 ・片山商事(株)</p> <p>3 産業・観光フォトコン テストの巡回展 ・4月 区役所南口エント ランス ・5月 新潟ふるさと村 ⇒中止 ・8月 ほんぽーと</p>	<p>1 工場夜景バスツアー (定員:20名or40名) ・9月21日(火)20名募集 85人応募(4.25倍) ・9月26日(日)20名募集 95人応募(4.25倍) ・10月21日(木)40名募集 ・10月28日(木)40名募集</p> <p>○見学先 ・航空自衛隊新潟分屯基 地 ・新潟県消防防災航空隊 ・東北電力新潟火力発電 所 ・(株)丸山車体製作所 ・(株)博進堂</p> <p>2 インスタグラムでの 情報発信</p> <p>3 産業・観光フォトコ ンテストの実施 ・10月～ 募集 ・2月 審査会の実施</p>	<p>&lt;実績&gt; 工場夜景バスツアー (定員40人) ○令和2年度 4回実施 261人応募(2.18倍) ○令和元年度 4回実施 926人応募(5.8倍) ○平成30年度 3回実施 665人応募(5.5倍) ○平成29年度 2回実施 692人応募(9.2倍) ○平成28年度 4回実施 2,279人応募(14.2 倍)</p>	<p>【評価】 東区の工場夜景を核とした事業を展開することにより、観光資源の少ない東区の新たな観光資源として認知度が向上し、区民の誇りづくりや交流人口の拡大に寄与している。</p> <p>【来年度方針】 令和4年度から「産業のまち東区まちづくり・ひとづくりプロジェクト」を立ち上げ、事業を統合し、「産業のまち東区」を一体的に発信していく</p> <p>工場夜景バスツアーは新型コロナウイルス感染予防対策をした上で令和3年度と同様に4回実施することとし、工場夜景のほか「新潟県消防防災航空隊」や「航空自衛隊新潟分屯基地」「新潟火力発電所」といった公共的施設を見学できるという特徴を活かした内容とする。</p> <p>また、東区公式インスタグラムでフォトコンテスト入賞作品を紹介するなど、「産業のまち」としての東区をいつでも誰でも楽しめるように、継続的な情報発信に取り組む。</p>

※新しい取り組みや、従来と変更になる箇所はゴシック体で表記しています。

令和3年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R2年度実施実績	R3年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
区民のこいのぼりプロジェクト  (事業開始年度) H31年度  【R3予算額 3,000千円】	建設課  【第2部会】	<p><b>【事業目的】</b> 平成30年4月にオープンした寺山公園及び子育て交流施設「い〜てらす」の知名度向上を図るため、東区の強みである子育て支援や、産業・ものづくりなどの魅力を市内外にアピールする。</p> <p><b>【事業内容】</b> ・無償で提供いただいた「こいのぼり」の掲揚(15本) ・地域の関係団体と連携したイベントの開催</p>	<p>・GW期間中に区民を中心に無償で提供いただいた「こいのぼり」を寺山公園、東区役所エントランスに掲揚した。</p> <p><b>【実績】</b> (寺山公園) 掲揚期間 4月29日～5月10日 (東区役所南口エントランス) 掲揚期間 5月1日～5月31日</p> <p>・こいのぼりプロジェクト実行委員会が主体となり、「寺山こどもまつり」を実施した。</p> <p><b>【実績】</b> 開催期間 11月7日 イベント参加者数 約300人 イベント数 4回 協賛企業 1件(個人農家)</p>	<p>・令和2年度に引続き、コロナ禍を考慮し、規模を縮小して実施した。</p> <p>・地元関係団体、小中学校、企業などで構成する「区民のこいのぼりプロジェクト実行委員会」が主体となり、「ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ」を開催した。</p> <p>・開催期間中、区民を中心に無償で提供いただいた「こいのぼり」を寺山公園内の15本のポールに掲揚するとともに、企業と連携したイベントを開催した。</p> <p><b>【実績】</b> 開催期間 4月29日～5月9日 イベント参加者数 約400人 イベント数 3回</p> <p>・10月中旬から11月上旬に「寺山公園秋まつり」の実施を予定しており、GW期間に開花するチューリップ植栽体験などのイベントを予定。</p>	<p>日々の作業である、こいのぼりの掲揚と降納について、地元木戸中学校の生徒と老人クラブから担ってもらった。また、木戸中学校の生徒が主体となり、寺山こい来いフェスタを取り上げた広報誌を作成し、学区内に配布した。</p> <p><b>【掲揚・降納作業参加者】</b> ・木戸中学校 35人 ・老人クラブ 70人</p> <p><b>【広報誌配布方法・枚数】</b> ・木戸中学校区内の自治会回覧板 ・配布枚数 654枚</p>	<p><b>【評価】</b></p> <p>1 事業内容の妥当性 区民を中心に無償で提供いただいた「こいのぼり」を寺山公園の掲揚することで、東区のPRに繋がった。また、地元企業との連携イベントを開催することで、東区の特徴である、産業・ものづくりなどの魅力発信の機会となっている。</p> <p>2 事業の効率性と費用対効果 地元中学校や老人クラブから協力いただき、イベント運営において人員の確保をした。</p> <p>3 協働の視点 地元関係団体や学校関係、企業等で組織する実行委員会で事業の企画・運営を行っており、地元企業・個人から協賛をいただき、イベント企画を行った。</p> <p>4 今後の事業展望 東区の魅力を発信する寺山公園におけるイベントとして、定着を図るとともに、ネーミングライツ事業への展開を進める。</p> <p><b>【来年度方針】</b> 他事業に統合 「産業のまち東区まちづくり・ひとづくりプロジェクト」と統合し、魅力あるまちづくり活動として引き続きイベントを開催する。</p>

※新しい取り組みや、従来と変更になる箇所はゴシック体で表記しています。